

ヒロシマを世界に伝えるために

ハノーファーでの 『ヒロシマ・サロン』 の試みから

ハノーファー州立劇場で一人の日本人女優が始めた

「ヒロシマ・サロンの7年間の奇跡」ドイツ劇場専属唯一の俳優

予約不要。直接会場へお越しください



平成 29 年 7 月 25 日 (火) | 14 : 40-16 : 10 | 会場 講義棟 6 0 3

<原サチコ・プロフィール>

1964年神奈川県生まれ。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。1984年より東京で演劇活動を始め。演劇舎蠅螂、後に劇団「ロマンチカ」に所属。1999年ドイツの鬼才演出家クリストフ・シュリンゲンジーフとの仕事をきっかけにベルリンへ移住。2004年東洋人として初めてオーストリア国立ブルク劇場の専属俳優となる。以降ハノーファー州立劇場、ケルン市立劇場、ハンブルク・ドイツ劇場と公立劇場専属俳優の唯一の日本人として13年に渡り活躍中。俳優業の傍ら、ドイツ最新演劇作品の日本語訳、リーディング、ドイツ演劇ワークショップ等も日本で行っている。ハノーファー州立劇場専属だった2010年、ハノーファーが広島と姉妹都市であることを知り、井上ひさし作「少年口伝隊一九四五」をドイツ語訳、ドイツ初演を行う。それに伴い「ヒロシマ・サロン」という平和活動プログラムを始め、現在もハノーファーのみならずヨーロッパ各地に招かれている。2017年1月にはハンブルク大学日本学科の特別授業として「少年口伝隊一九四五」を演出した。現在ハンブルク・ドイツ劇場所属、多くのレパートリー作品に出演している。